

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

令和5年度第3回 理事会議事録

日時：令和5年4月12日（水）13:00-14:40

場所：札幌グランドホテル東館3階「GINSEN」

【出席した理事】伊東 学、大鳥 精司、小田 剛紀、金村 徳相、川口 善治、高橋 寛、竹下 克志、
田中 信弘、筑田 博隆、土井田 稔、永島 英樹、中村 雅也、西田 康太郎、
根尾 昌志、橋爪 洋、波呂 浩孝

【出席した監事】小澤 浩司 播広谷 勝三

【議事の経過の要領及びその結果】

理事長・波呂浩孝が議長となり、開会を宣して議事に入った。

1. 審議・決議事項

①. 前回の議事録の確認

修正等ある場合は大鳥理事へ一報する。

②. 学術集会演題応募時のCOI自己申告について

先般の理事会で承認されている演題応募時のCOI自己申告の詳細について検討した。最終的に「提出された書類等のチェックは特にしないが、第53回学術集会（渡辺雅彦会長、パシフィコ横浜）から演題応募時のCOI提出を開始すること」と決定した。

③. 専門医制度委員会より：専門医機構との調整と専門研修施設について

以下の2点につき審議した。

- ・本領域としては、2023年4月から専門研修施設のカリキュラムを開始する。
 - ・「機構認定の専門医のための専門研修施設」として、新規に申請する場合は審査料3万円、登録料2万円とする。既存施設は更新時に同額徴収する。
- 一同検討の結果、承認した。

④. メンバーシップ・コンプライアンス委員会より

3月の入退会について全員を承認した。

次に、刑事罰を受けたため次の評議員会決議をもって除名予定の会員について、除名承認後に発送する文書を提示した。当学会の認定資格である名誉指導医も同時にはく奪となる。一同検討の結果、文書の一

部を修正して承認し、評議員会後に該当の会員へ文書を発送することになった。

引き続きの議題となっている「賛助会員特典の件」で、委員会で審議された4つの特典を検討し、一部変更して承認された。

1.学会開催の展示欄に賛助会員とその継続年数を掲載する。

2.日本脊椎脊髄病学会著作物からの転載に際し、著作権使用料を無料とする。

3.賛助会員一口につき2枚の学術集会参加証を付与する。ただし、ランチョンなど他企業主催セミナーへの参加は不可とする。

4.会員専用ページの一部閲覧を可能とする。

また、企業からの寄付については、寄付本来の趣旨を考慮し、インセンティブは「なし」となった。

⑤. その他

プロジェクト委員会より：新委員委嘱また委員交代の件

古矢丈雄評議員（千葉大学）・尾崎正大会員（慶應大学 八木委員の異動にともない）・西田周泰評議員（山口大学 今城委員の異動にともない）に新規プロジェクト委員を委嘱することを承認した。

2. 審議・報告事項

①.専門医制度委員会報告

専門医更新のためのe-learning 受講が2023年4月1日から開始され、対象者にはすでに個別に連絡済みである。

②.定款等検討委員会報告

COI指針ならびにCOI細則改正案の文言修正に関してメール審議を行い、修正案をCOI委員会へ提出した。

③.国際委員会報告

KSSSのトラベリングフェローに関するMOUについて、双方の合意のもとに締結予定である。KSSSについては先方から来訪する医師は教授クラスで、JSSRが選考して派遣する若手医師とは立場等が異なっているため、MOUを作る必要があった。MOU案の重要な点を説明し、一同検討の結果承認した。アライアンス関係にあるTWSS、KSSSとは、担当者の変更等により以前の合意内容が不明確になることがあり、定期的にMOUをアップデートしていく。

学会（JSSR）としては、どこをフェローシップ受け入れ施設として推薦するかも併せて考えたく、海外の医師の研修先についても今後伊東理事が理事会で報告することとなった。

NASS International Bangkokにおいて、先方よりNASS-JSSR OPLL Symposium を開催したいとの希望があり、玉井孝司委員に加え北村和也委員の2名をNASS International へ派遣することで合意した。

④.COI委員会報告

「日本脊椎脊髄病学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針」および「日本脊椎脊髄病学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針の細則」関係書類の改定に関して、今までの流れ

とこれからの会員への告知・通知方法を説明した。また日本整形外科学会（日整会）における、学術集会の演題募集の際のCOI収集方法についても説明がなされた。

⑤.脊椎関連学会連携促進委員会報告

SWJの法人設立状況について説明した。定款はすでにほぼ完成し公証人の査収も受けている。今月中に役員からの必要書類の収集等を予定していることや、JSSRからの基金の支払いの流れを説明した。

2026年は10月なら神戸、11月なら横浜を予定している。

土井田理事が、基金は単純な支出（寄付）ではなく貸借対照表の科目となると説明した。なお、SWJの会計税務に関しては合見積の結果、日整会でも会計税務を担当している小見山先生に依頼することになったことや、法人事務所を江東区清澄ではなく日整会も登記している文京区本郷に置くことになったことを説明した。

⑥.その他の委員会報告

プロジェクト委員会報告

各プロジェクトの進捗を説明した。すでに完成した2つのプロジェクト（担当：若尾委員、寺井委員）については、このたびの学術集会で発表を予定している。

財務委員会報告

2023年2月に石原税理士から秋田税理士へ顧問税理士が交代した。4月4日に同税理士とZoomで面会を行い、第52回学術集会の共催セミナーの税務計算方法は石原税理士の方法を踏襲してもらえることを確認した。次回の学術集会については、趣意書の段階で内容に不備等ないか確認していく。税務会計についても、日整会に足並みをそろえていくことを確認した。

広報委員会報告

データベース委員会の年次報告を、会員専用ページに掲載した。注意点等も併せて掲載した。

⑦.その他：

- ・評議員会の議事や流れを確認した。
- ・4月13日昼にも会員総会前の理事会が予定されている。

以上

令和5年4月12日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 波呂浩孝

監事 小澤浩司

監事 播広谷勝三